

全国協議会 ニュース

2017年5月1日発行 第299号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：野村正満 題字：仲田順和（会長）
http://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

ありがとう!! 35,000 例突破! 骨髄バンク・さい帯血バンクの移植合計数

2017年3月末の累計移植数は、骨髄バンク 20,547 例、さい帯血バンク 14,511 例で合計移植数 35,058 例となりました。2015年4月16日に30,000例を突破してからちょうど2年目の到達です。毎年2,500例ずつ増加しています。患者さんの命を救おうと、心あ

たたかな善意から骨髄液を提供されたドナーさん、ご出産の喜びとともにさい帯血を提供されたお母さん方、医療関係者、バンク事業関係者、日本赤十字社、全国のボランティアのみなさまに、心からの「ありがとう!」の感謝を送ります。

**2017 全国骨髄バンク
ボランティアの集い in 東京**

- ◆ 5月27日(土) 13:00 ~ 17:00
- ◆ 日本赤十字社本社大会議室
(東京都港区芝大門1-1-3)

記念講演
国立がん研究センター中央病院
造血幹細胞移植科
福田隆浩先生、黒澤彩子先生
シンポジウム
患者支援活動の現状とこれから

こんなに元気になりました 感謝をこめて、両監督に花束贈呈



左・飯田紗雪さん、右・佐々木夏乃さん

4月15日(土) 千葉市幕張のZOZOマリンスタジアムでブリストル・マイヤーズ株主催(読売千葉広告社主管)の「骨髄バンクドナー登録推進スペシャルデー」が開催され、骨髄バンク登録推進トークショーやクイズ大会、グッズが当たるbayfmラッキーレット大会、ロッテ・西武両監督への花束贈呈がありました。

大変風の強い一日で、前日用意頂いたテントが吹き飛ばされてしまい、屋根布のない骨組だけのテントでケア帽の展示を行い、説明員8人でケア帽子をかぶり登録説明会とチラシ配りを

行いました。ドナー登録説明受講者は、なんと59名もありました。これは景品を求めて大行列した野球ファンにチラシを配るとともに「説明を受けた方はくじ引きで、10名にロッテ選手のサインボールが貰える」との声掛けが大きく寄与したものと思います。

また、千葉市立青葉病院の横田朗先生と当会の石橋運営委員が参加した、骨髄バンクのトークショーとクイズも200名近くの観客があり盛況でした。千葉市で4月1日からドナー助成制度が開始され、そのチラシや骨髄バンクのギフトオブライフなど、たくさんの普及啓発チラシを配布しました。

球場内では試合に先立ってセレモニーが行われ、バックスクリーンに「骨髄バンクドナー登録推進スペシャルデー」「～みんなで応援!千葉からはじまる希望のリレー～」の文字が球団マスコットとともに映り、帯状の電光掲示板にも同文字が流れ、骨髄バンク支援が大いに盛り上がっていました。そして、骨髄移植で元気になった元患者の佐々木夏乃さん(20歳代)、飯田紗雪さん(11歳)から千葉ロッテマリーンズの伊東勲監督、埼玉西武ライオンズの辻彦彦監督に花束贈呈が行われ、球場内は大きな拍手が響きま



した。とても嬉しく感激の一日になりました。(千葉の会 梅田正造)

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

(MONTHLY JMDP(4月14日発行)より抜粋)

■日本骨髄バンクの現状(2017年3月末現在)

	2月	3月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,437	2,071	470,270	696,041
患者登録者数	268	246	3,483	50,614
移植例数	118	120	—	20,547

■3月の区別ドナー登録者数
献血ルーム/714人、献血併行型集団登録会/1,325人、集団登録会/0人、その他/32人

■3月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 3,547人/20代 69,964人/30代 139,504人
40代 201,141人/50代 56,114人

■3月の20歳未満の登録者141人

■3月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数: 281件

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

**白血病フリーダイヤル
0120-81-5929**

毎週土曜日 10時から16時まで、
治療や闘病生活のお悩みの相談をお受けします。
第2・4土曜日には専門医に直接相談できます。

ソニー生命がサポートしています。

「円覚寺」でのコンサート 毎年、桜の季節に開催し 25 年周年



第1回骨髄バンクチャリティーコンサート「円覚寺ピアノ三重奏の夕べ」が、古都鎌倉の円覚寺方丈で開催されたのは1992年11月27日のことでした。今年4月1日(土)の開催で25回目を迎えることが出来ました。今では、桜の季節がやってくると「円覚寺ピアノ三重奏の夕べ」を、心待ちにしているとおっしゃっていただくように

なりました。

このコンサートは25年前の当時、サント・フローリアンピアノ三重奏の音楽仲間で、友人であるピアニストの方が、白血病を発病されたことがきっかけとなり、「骨髄バンクのためにできることは演奏すること」とチャリティーコンサートを申し出て下さったのがはじまりでした。骨髄バンクは

立ち上がったばかりで、多くの力を必要としていました。

神奈川での担当となった副会長は、はて会場をどこにしようか、お金がかからなくてある程度的人数が入れるところと、会場探しに苦勞をしていた時、お互いの家族が入院していた鎌倉市内の病院で知り合った円覚寺寿徳庵の住職に「円覚寺方丈でどうだろうか」とお願いし、「多目的のお堂方丈として広く市民の方々のお役にたてば」と円覚寺でのコンサートが実現しました。それから会場は円覚寺、時期は4月の第1土曜日とし今まで続けております。

私たちの活動は毎年このコンサートから始まります。「円覚寺ピアノ三重奏の夕べ」は、多くの関係者の方々の熱い思いと温かいご支援に支えられ、長きにわたって続けることが出来ました。骨髄移植を望むすべての患者さんがチャンスに恵まれますように、そして病気になる前と同じ生活を取り戻せるようにと願いを込めつつ。

(神奈川の会 村上忠雄)

大阪で初めての開催、チャリティー麻雀大会



骨髄バンクチャリティー麻雀大会。第1回目は2005年9月24日にニューロン蒲田校(東京)で開催されました。その後、徳島、群馬、千葉、兵庫と多くの方のご支援により、12年間で18回開催してきました。

今回の大会発起人であり、私の大阪の親父であるマツオカ株式会社の松岡博文社長の大きなサポートで、3月12日(日)大阪梅田「菜の花」を会場にして、80名の参加者で大阪大会を開催することができました。残念なが

ら、社長自身は大会前日に体調を崩したために当日会場にお越しいただくことはなりませんでした。大会3か月前から起ち上げた大会実行委員会のメンバーを中心に関西在住の麻雀プロたちがボランティアで運営を手伝ってくれ、大会を盛り上げてくれました。一人一人が自分で考え、動き、一緒に大会を盛り上げてくれた姿に、胸が熱くなりました。本当にありがとうございました。みんな大大大好きです!!!

当日集まった募金総額410,728円をとくしま骨髄バンクを支援する会と全国協議会に全額寄付しました。

自分は、骨髄バンクが無かったら間違いなく15年前に死んでいた人間です。ドナーさんがいなかったら、

こんなにもたくさんの人たちと出会うことが出来ませんでした。自分が生きている意味、生かしてもらった意味を自分なりに考え、自分に出来る範囲で自分にできることをする。今回の大阪での大会を通して、さらにたくさんの仲間を作ることができたと思っています。本当に自分は幸せ者だと思っています。感謝の気持ちを忘れずこれからも、一日一日を大切に生きていきたいです。

ご参加くださった方、協力してくださった方、本当にありがとうございました。また、来年も大好きな仲間たちと大阪で素敵な一日を過ごしたいです。

(徳島・ルーラー山口こと山口明大)



大谷貴子顧問、山口明大さん、上田唯平

東北地区ブロックセミナー開催 青年会議所との連携を提案



山形県山形市の山形市民活動支援センター会議室にて、3月4日(土)と5日(日)の両日に亘って東北ブロックセミナーを開催しました。

セミナー開催にあたり事前に各団体にアンケートを実施し、現状の課題や問題点を共有したうえで、山形県における取り組みをご紹介します。問題解決の糸口と更なるドナー登録推進に向けての契機とさせていただきます。まずは、山形県では平成29年度から県内の全市町村(35市町村)において導

入されることが決まったドナー助成制度について、その取り組みを県の担当者からご紹介いただきました。

次に、各県から人材不足やスタッフの高齢化に伴い、会の運営維持そのものに支障をきたしているという現状が多く報告されました。これに対し、やまがたの会として一つのご提案をさせていただきます。それは青年会議所(JC)との繋がりを持つということです。山形県内では17の青年会議所が存在し、700名を超える会員が活動し

ており、やまがたの会の副会長として毎年、その17の青年会議所から構成される日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会の会長が就いております。青年会議所の会員は20歳から40歳までの青年経済人であり、様々な運動を地域で展開しているのが特徴です。当然のことながら山形だけでなく日本全国各県に存在しており、是非とも青年会議所が持つネットワークとフットワークを頼って欲しいと当日参加した青年会議所会員から説明がありました。

今回は東北ブロックセミナーにおいての東北各県の団体に対してのご提案でしたが、同じく悩みを抱える全国の皆様にもご提案させていただき、皆様の活動・運動の一助となりますこと、そしてより骨髄バンクへの認知度と理解度が高まりますよう、一人の青年会議所OBとしてご祈念申し上げ報告とさせていただきます。

(やまがたの会・山科慎治)

関東・甲信越地区ブロックセミナー 法律見直しに活発な議論



3月18日(土)埼玉県さいたま市のJR浦和駅前・さいたま市市民活動サポートセンターで、「関東・甲信越地区ブロックセミナー」が開催されました。地元の埼玉県の皆さんをはじめ、神奈川、千葉、東京、新潟から20人が参加しました。最初に全国協議会から、3月16日に開催された骨髄・さい帯血バンク議員連盟総会の概要報告がありました。

その後、「ドナー登録者の若年層対策」をテーマとして議論が行われ、各地のボランティアメンバーも高齢化が

深刻であり、若い人に活動に参加してほしいこと、ドナー登録拡大での若年層を対象とした取り組みについて、活発な意見交換が行われました。特に、献血受付での声かけが、一番効果的であるこ

と。「今日はドナー登録ができます、説明を聞きませんか？」の一言をかけてくれるだけで、ドナー登録者は確実に増えており、各地の経験からも実証されていると皆さんからの発言でした。

次いで「法律の見直し」についてをテーマに、各地からの提案も受けて議論がされまし

た。日本赤十字血液センターが業務の一環として、献血者受付で声かけをしてくれることで、全国のドナー登録者拡大・若年層対策は実現できる。是非とも法律見直しで取り組んで欲しいと強調されました。また、コーディネーター期間短縮化が必要と10数年前から言われているが、サッパリ効果が上がっていない。その具体策の提案も何も出されてこない、しっかり取り組んで欲しい。患者さんの命に関わることなので、法律の見直しで取り組んで欲しいとの提言がありました。

ボランティアあるある1コマ◎杉本はるみ



新潟

すくすくと成長している桜に感動です！

2009年に「骨髄移植1万例・さい帯血移植5千例、ありがとうキャンペーン 全国リレー記念植樹」が行われ、新潟県の菊水酒造さんのご協力で敷地の庭に桜が植樹されました。

新潟県新発田市に本社がある菊水酒造さんの庭に、大きく咲いた桜の写真を高澤大介社長が送っていただきました。

高澤様には私的には「お酒」で大変お世話になっておりますが、公には、骨髄バンク事業に多大なるご貢献をいただいております、まさしく公私ともにお世話になっております。

以前、東京の有明で全国大会を開催した折には、大きな酒樽で懇親会を盛り上げていただきました。その際、社長自ら床にこぼれたお酒を拭いておられたお姿に、上に立つものの姿勢を拝見し感動いたしました。その後も、継続的に多額のご寄附を賜り、骨髄バン



クのボランティア活動を支えて下さっています。

この桜も高澤様はじめ社員の方々が、優しく心をこめて育てて下さっているのだと思います。本当にありがとうございます。この桜のように多くの患者さんが、見事に生還されますように。
(大谷貴子顧問)

患者サロン開催

4月9日(日)第19回目となる患者サロン「笑顔アップ!顔ヨガ教室」が、全国協議会の事務所で開かれました。講師の中島裕美子先生(顔ヨガ協会認定インストラクター)のビフォー&アフターの写真を見せていただき、効果を実感!5個の顔ヨガポーズをみんなで鏡を見ながら実践しました。たった1時間で開始前に撮ったスマホの写真と違う笑顔がそこにありました。先生の「笑顔で幸せを引き寄せられます!」の言葉に勇気づけられました。



「いづか雛のまつり」での募金活動 29 回目!

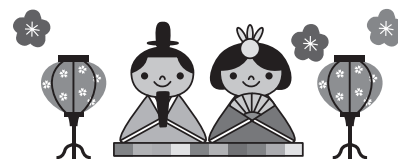
いづか雛のまつり(福岡県飯塚市2月4日~3月28日)の期間中、旧伊藤伝右衛門邸の本座敷に飾られた座敷雛の一角に、「骨髄バンク募金箱」を設置して瀬下麻美子さんやスタッフの皆様が、来場者からの寄付を受けてくださいました。4月11日(火)にこの寄付の贈呈式が行われました。

そもそもこの募金活動は、1988年に飯塚市副市長の息子さんが白血病となり、骨髄移植が必要となったことを聞いた瀬下さんが、自分ができることとして始めたもので、今回でなんと29回目となるものです。このきっかけとなった患者さんは、当時、名古屋大学病院に入院していた磯和夫さんです。磯さんは、東海骨髄バンクの設立に関わり、全国協議会の創立メンバーとして運営委員としても活躍されました。また、ご自分の骨髄移植のためにNMDP(全米骨髄バンク)の諸手続を調べて整理され、それ以後の患者さんに生かされるなど、磯さんの骨髄バンク運動での存在感は極めて大き

なものです。

この磯さんの発病をきっかけに始まった募金活動が、長年にわたって継続され、今年も67,425円を全国協議会に寄付いただき、佐藤さち子基金に繰り込まれました。これほど永きにわたり継続されていることに驚くばかりでした。地道に活動し続けることの意義を改めて実感させていただきました。

(副理事長・田中重勝)



賛助会員の皆さま紹介(敬称略)

【一般賛助会員】

安齋 紀 = 福島▽有限会社理光物産
小森光雄 = 岐阜

【サポート会員】

小松はるよ = 岡山

心からのご寄付に感謝申し上げます ●3月21日~4月17日(敬称略)

●一般	●佐藤さち子患者支援基金	現金	15,822円
株式会社チエノワ情報システムズ	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構	みずおクリニック	
現金 10,904円	現金 4,329円	水尾 敏彦	現金 3,395円
株式会社THINK フィットネス	いづか雛のまつり現金 67,425円	有限会社カワシマ設備工業	現金 3,753円
現金 567,554円	笹森 広夫	有限会社長崎ハイブクリーニング	現金 1,743円
関東甲信越ブロックセミナー	日根 和美	五島うどん 浩ちゃん	現金 3,928円
有志一同	●募金箱	シーサイド	現金 9,270円
村上 忠雄	株式会社北越ケーブ	木原鱧屋分店 山口 久男	現金 1,956円
匿名	現金 750,822円	●かざして募金	
匿名	インター松代象山屋業局	現金 2,200円	
現金 5,000円	現金 3,045円		
日新火災海上保険株式会社	ゴールドジム御殿場		
切手 3,634円	現金 14,017円		
櫻井 洋子	磯屋食堂 伊藤 博康		
切手 2,480円			
田中 とみ			
ハガキ 900円			

活動資金の支援をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

郵便振替口座 00150-4-15754

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会